

Ⅲ

市民などの外出状況・意識



市民などの外出状況や利用交通手段、公共交通に対する意識の状況を把握するため、市民やバス・鉄道利用客へのアンケート、聞き取りなどの調査を行いました。以下に結果の概要を示します。

1. 市民へのアンケート

1-1 調査の実施概要

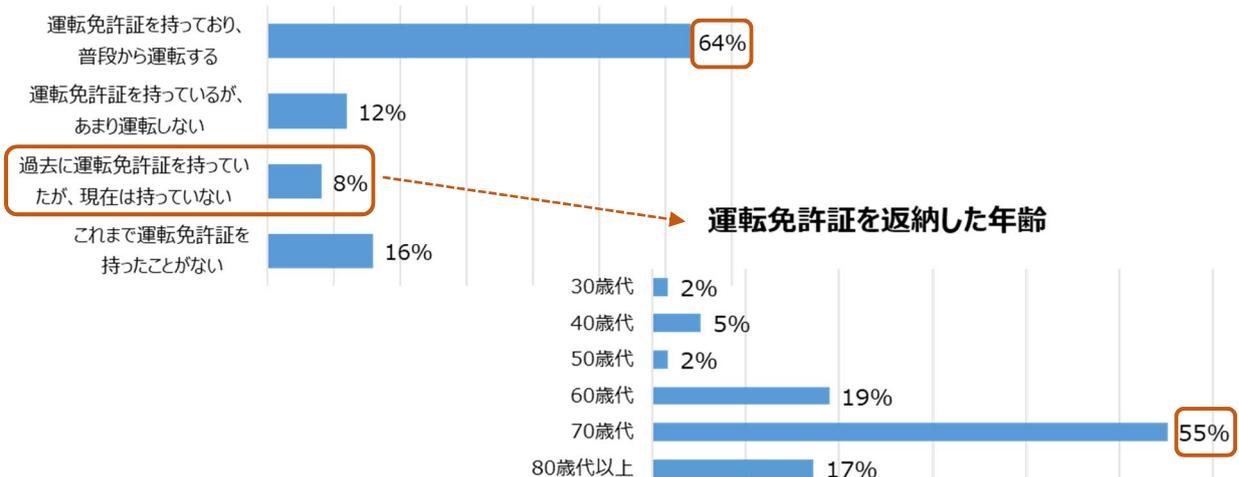
- 【調査の対象】 15歳以上の市民 2,000人 を無作為抽出
- 【調査期間】 令和5年（2023年）3月
- 【調査方法】 郵送配布・郵送回収または回答用二次元コードからWEBで回答
- 【回答数】 920人（郵送741人、WEB179人）、回収率46%

1-2 主な調査結果

(1) 運転免許証の保有状況

- 回答者の6割以上が運転免許証を保有しており、普段から運転をしています。
- 「過去に運転免許証を持っていたが現在は持っていない」という人が運転免許証を返納した年齢は、70歳代が最も多くなっています。

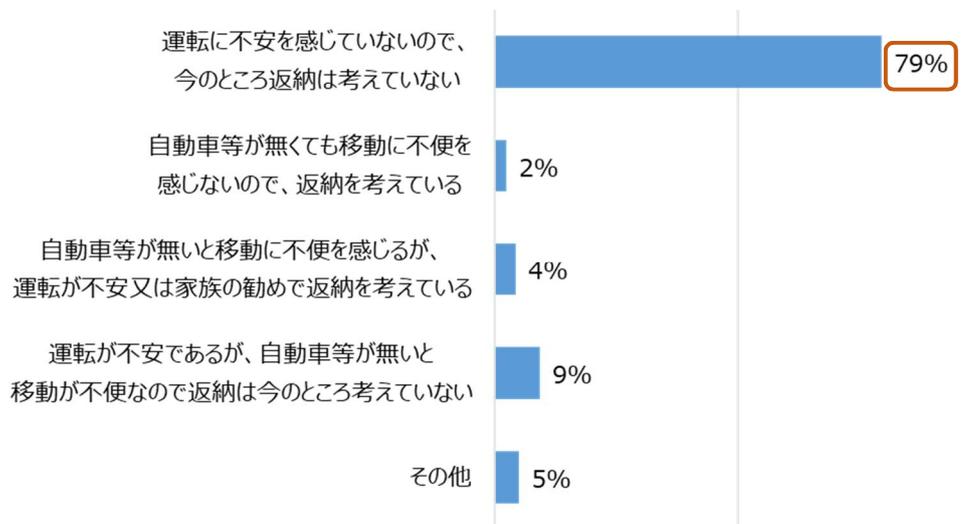
運転免許証の保有状況



(2) 運転免許証の返納に対する考え

- 運転免許証の返納に対する考えとして、「運転に不安を感じていないので、今のところ返納は考えていない」という人が約 8 割となっています。
- 一方で、「運転が不安であるが、自動車等が無いと移動が不便なので返納は今のところ考えていない」という人が約 1 割となっており、運転に不安を抱えながらも運転を続けている人が一定数います。

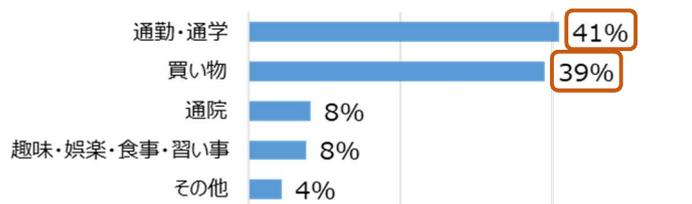
運転免許証の返納に対する考え



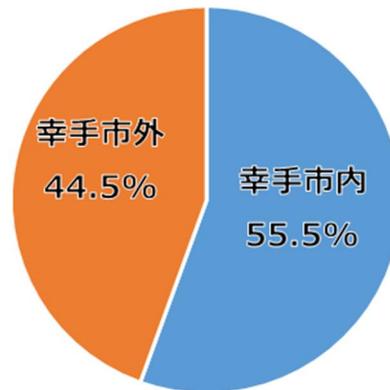
(3) 最も多い外出について

- 外出の目的は、「通勤・通学」、「買い物」が特に多くなっており、行先は市内が市外をやや上回っています。
- 外出手段については、「自動車（自ら運転）」が特に多く、「家族などの送迎」も含めると半数以上を占めており、市民がクルマ中心の外出スタイルである状況がうかがえます。クルマ以外では、「鉄道」、「自転車」、「徒歩」が比較的多く、バスなどを利用して外出する人の割合は少ない現状です。

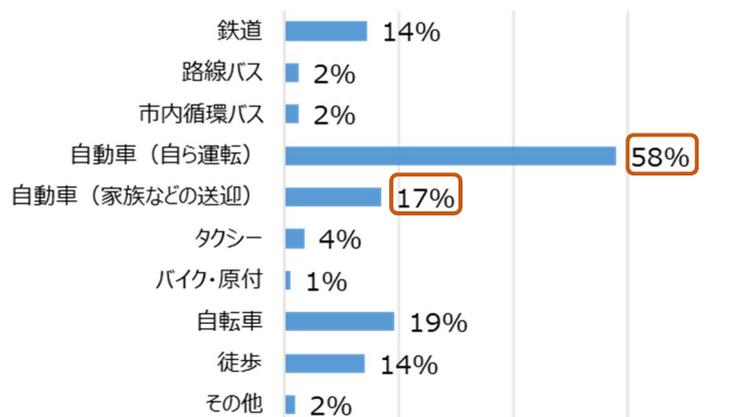
最も多い外出の目的



最も多い外出の行先



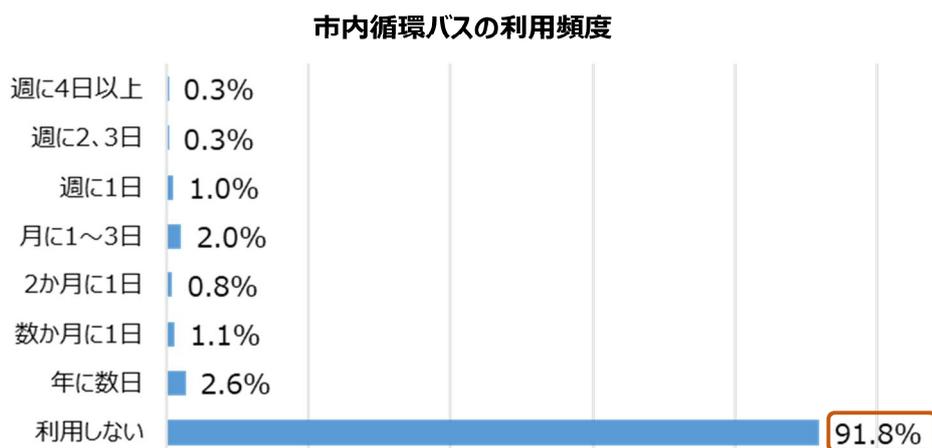
最も多い外出先への交通手段（複数回答）



(4) 幸手市市内循環バスについて

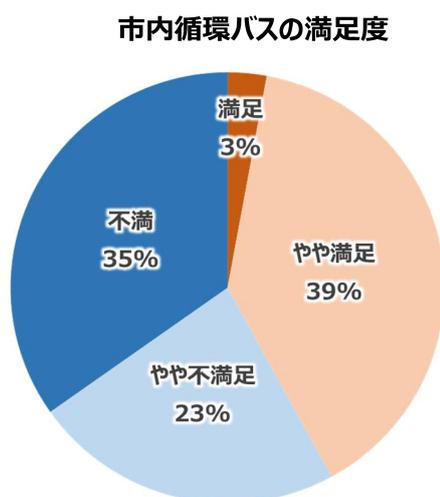
・市内循環バスの利用頻度

- 市内循環バスを利用しない人が 9 割を超えており、利用する人は一部に限られている状況です。



・市内循環バスの満足度について

- 市内循環バスの総合的な満足度は、「不満」・「やや不満」との回答が 6 割程度で、「満足」・「やや満足」と回答した割合を上回っています。
- 詳細な項目では、運賃について「満足」・「やや満足」との回答が特に多い一方で、運行本数、乗り換えについては「不満」・「やや不満」との回答が多くなっています。

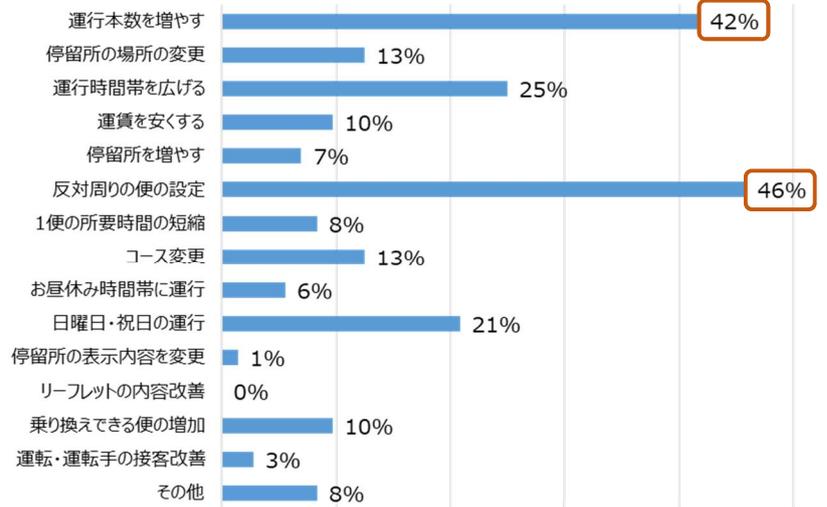


(市内循環バス利用者のみ)

・市内循環バスを利用する人が必要と考える取り組みについて

●市内循環バスを利用している人が必要と考える取り組みは、「反対周りの便の設定」、「運行本数を増やす」が特に多くなっています。

市内循環バスがより良くなるために必要と考える取り組み（複数回答）

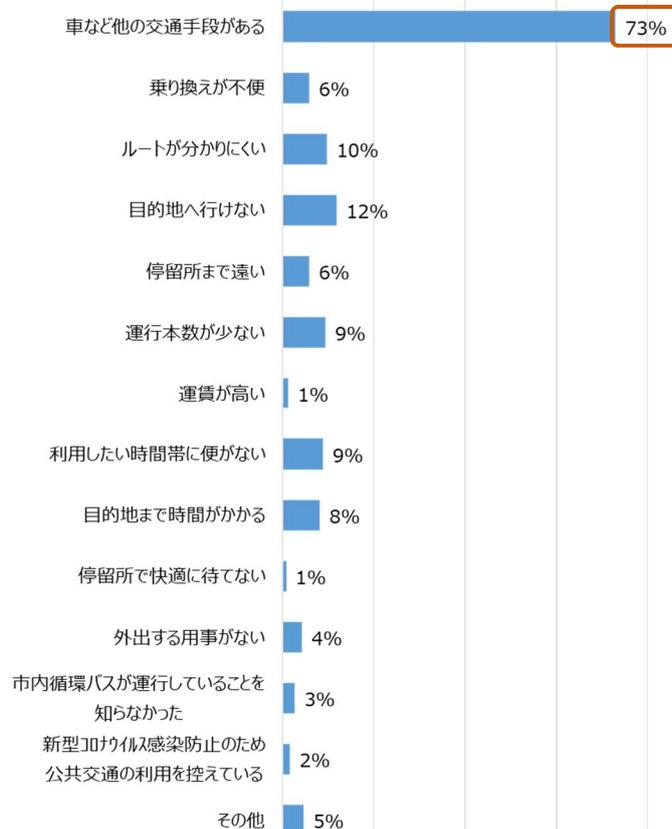


(市内循環バス利用者のみ)

・市内循環バスを利用しない人の理由

●市内循環バスを利用しない人の理由は、「車など他の交通手段がある」が7割程度で特に多くなっています。

市内循環バスを利用しない人の理由（複数回答）



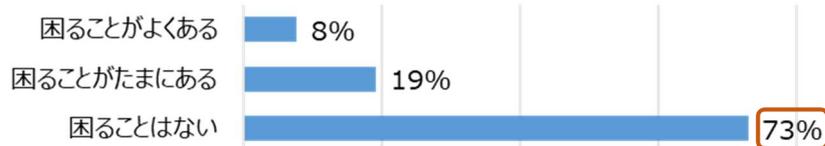
(市内循環バスの非利用者のみ)

(5) 移動手段の確保について

・移動手段の確保に困る頻度

●外出したい時の移動手段の確保に困ることの頻度について、「困ることはない」との回答が7割程度で大半を占めていますが、困ることがあるという人も一定数います。

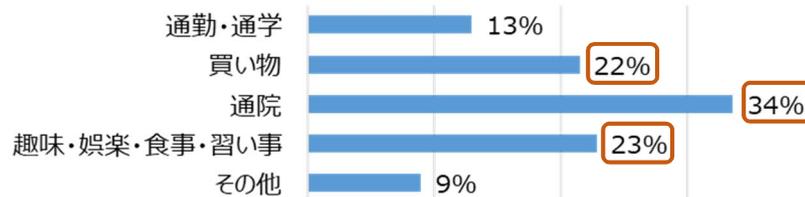
移動手段の確保に困る頻度



・移動手段の確保に困る場面

●移動手段に困ることのあると回答した人が困る場面は、「通院」が最も多く、次いで「趣味・娯楽・食事・習い事」、「買い物」が多くなっています。

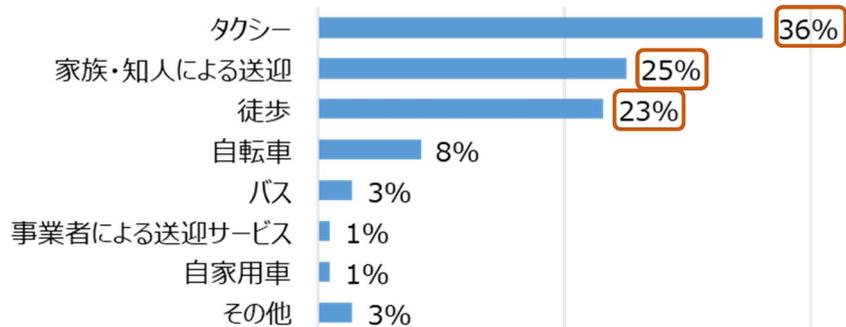
移動手段の確保に困る場面



・移動手段の確保に困った際の対応

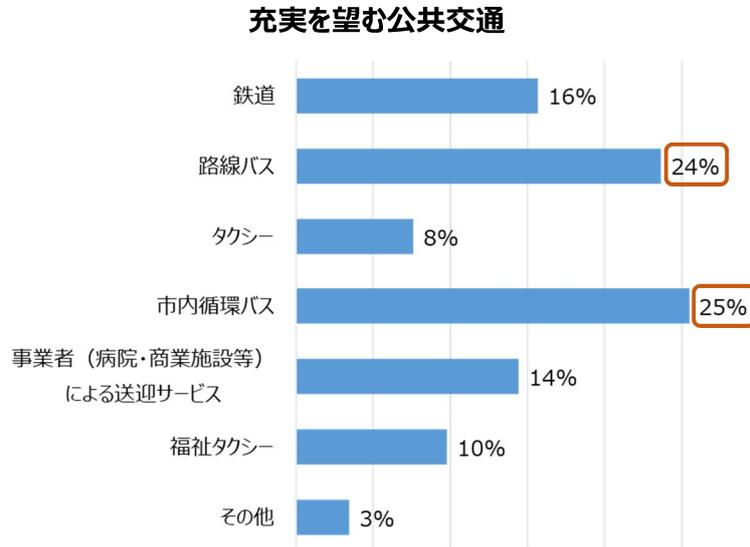
●移動手段に困った際の対応方法は、「タクシー」の利用が最も多く、次いで「家族・知人による送迎」、「徒歩」が多くなっています。

移動手段の確保に困った際の対応



・充実を望む公共交通

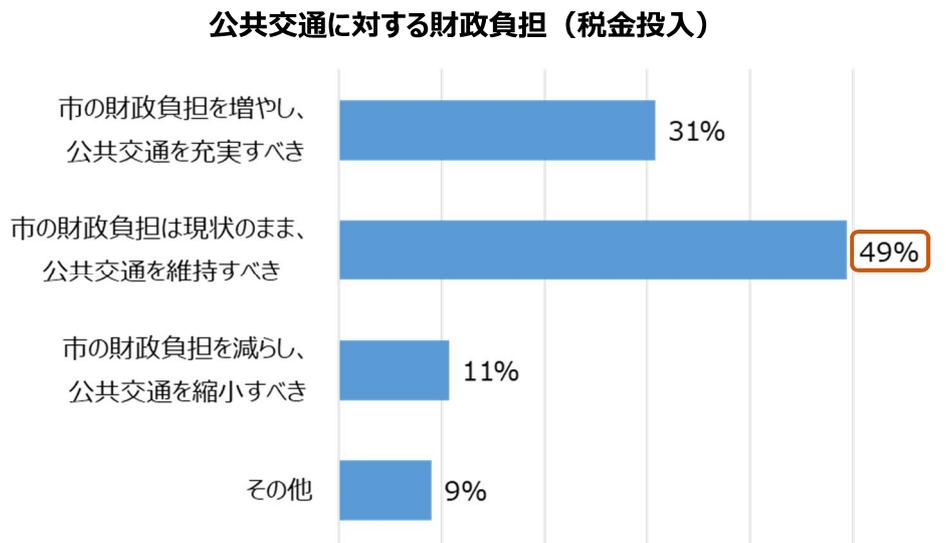
- 今後、充実を望む公共交通は、「市内循環バス」、「路線バス」が多くなっています。



（6）公共交通の今後のあり方について

・公共交通に対する財政負担（税金投入）に対する考え

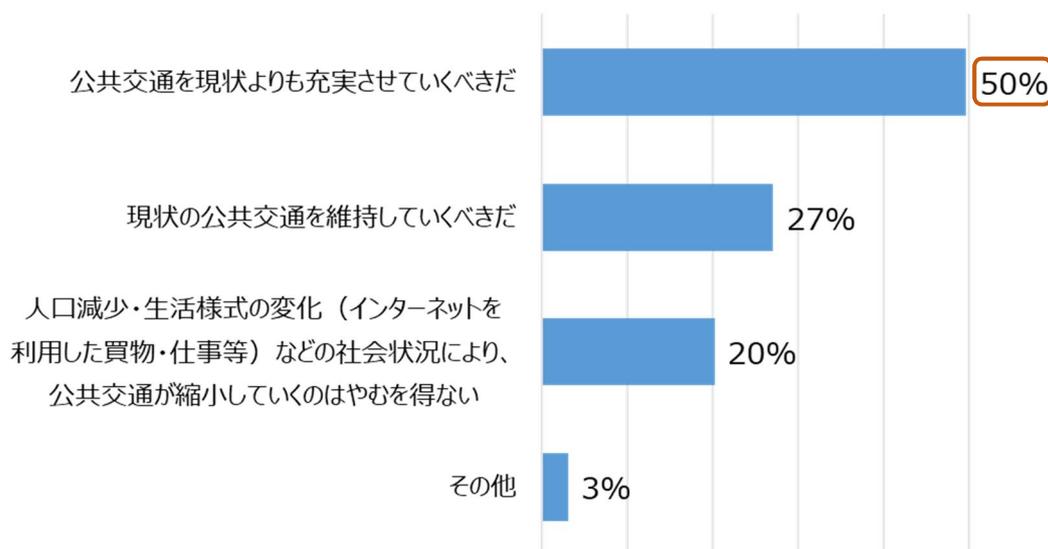
- 公共交通に対する財政負担（税金投入）の考え方については、「市の財政負担は現状のまま、公共交通を維持すべき」との回答が5割程度で最も多く、次いで「市の財政負担を増やし、公共交通を充実すべき」が多くなっています。
- 一方で、「公共交通に対する市の財政負担を減らすべき」との回答も1割程度あります。



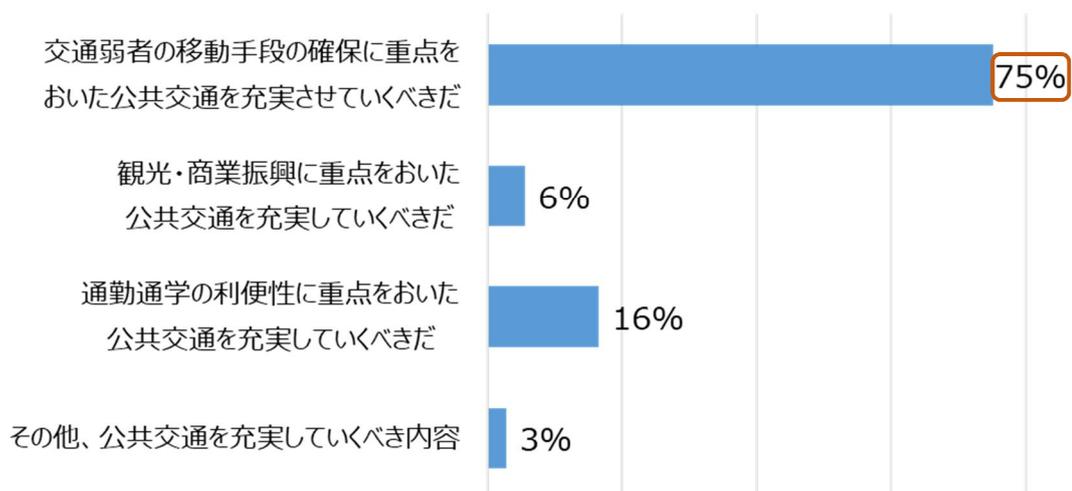
・今後の公共交通についての考え

- 今後の公共交通についての考え方は、「公共交通を現状よりも充実させるべき」との回答が5割と最も多く、次いで「現状の公共交通を維持していくべき」が3割程度となっています。一方で、「公共交通の縮小はやむを得ない」との回答も2割あります。
- 「公共交通を現状よりも充実させていくべき」と回答した人の考える充実すべき内容は、「交通弱者の移動手段の確保に重点を置くべき」との回答が7割以上で特に多くなっています。

今後の公共交通についての考え



充実すべき内容



2. 市内循環バス乗降客調査

2-1 調査の実施概要

- 【対 象】 調査当日の市内循環バスの全便の利用客
- 【調査期間】 令和5年（2023年）7月19日（水）および22日（土）
- 【調査方法】 調査員が市内循環バスに乗り込み、乗降客数を調査するとともに、調査票によって利用客の属性などを調査
- 【回 答 数】 122人（平日75人、休日47人）

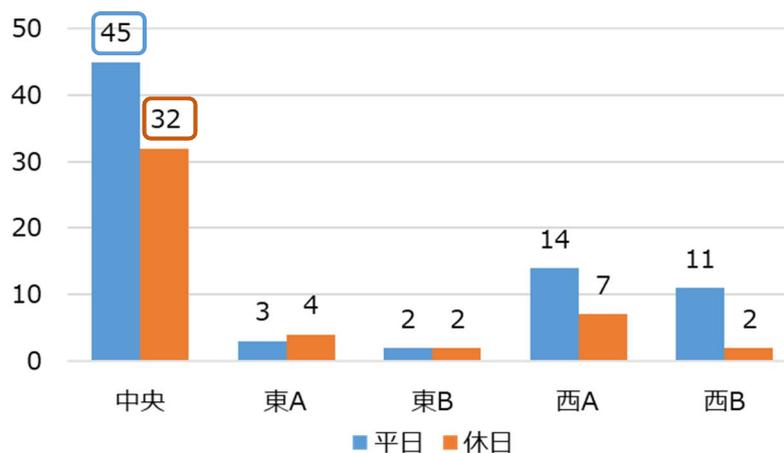


2-2 主な調査結果

(1) 調査当日の利用客数

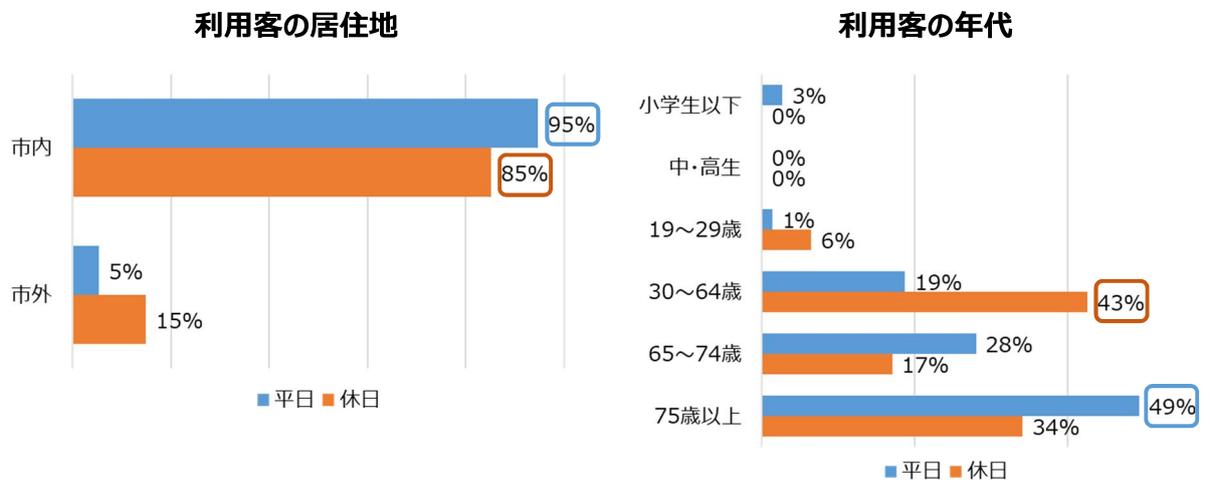
- 調査当日の利用客数は、全コースの中で、中央コースが平日・休日とも最も多くなっています。
- 東コースは平日・休日とも、西コースは休日の利用客数が少なく、1日10人未満の状況です。

各コースの利用客数（人/日）



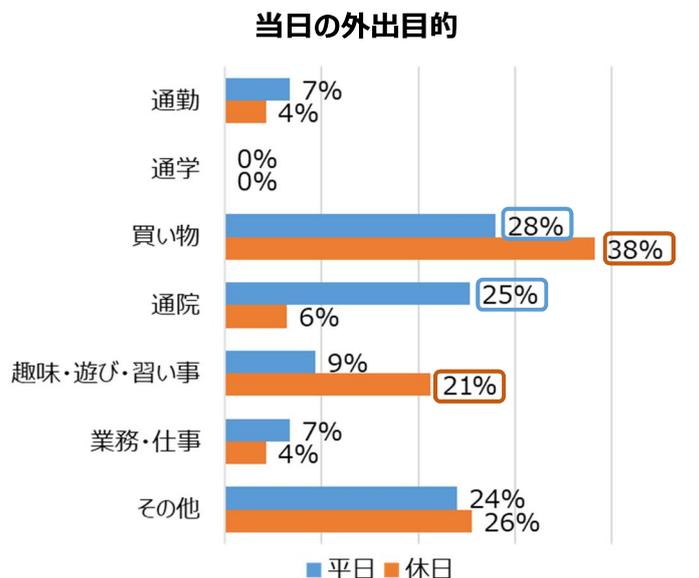
(2) 利用客の属性

- 利用客の居住地は、平日・休日ともに大半が市内です。
- 利用客の年代は、平日は高齢者が中心であるのに対し、休日は 30～64 歳の利用が多くなっています。



(3) 利用当日の外出目的

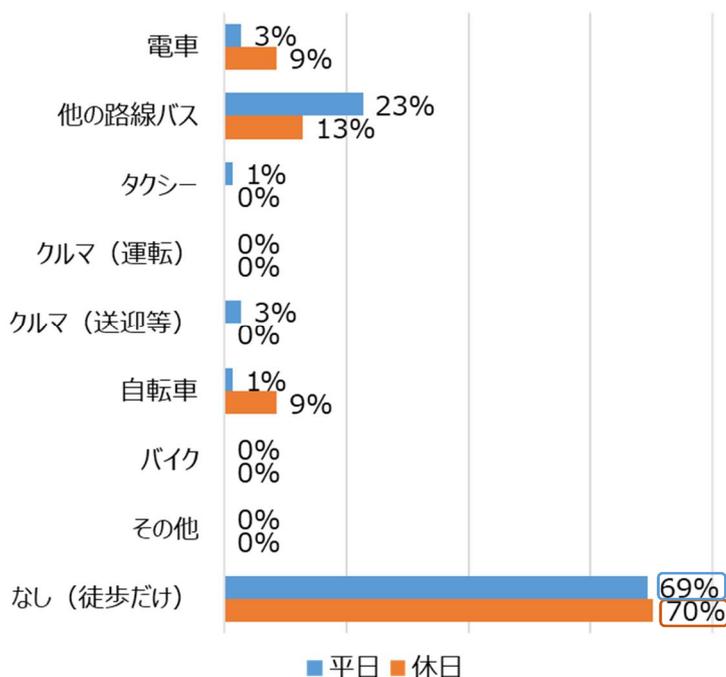
- 平日は「買い物」、「通院」、休日は「買い物」、「趣味・遊び・習い事」での利用が多くなっています。
- 「通勤・通学」、「業務・仕事」での利用は、平日、休日とも少ない状況です。



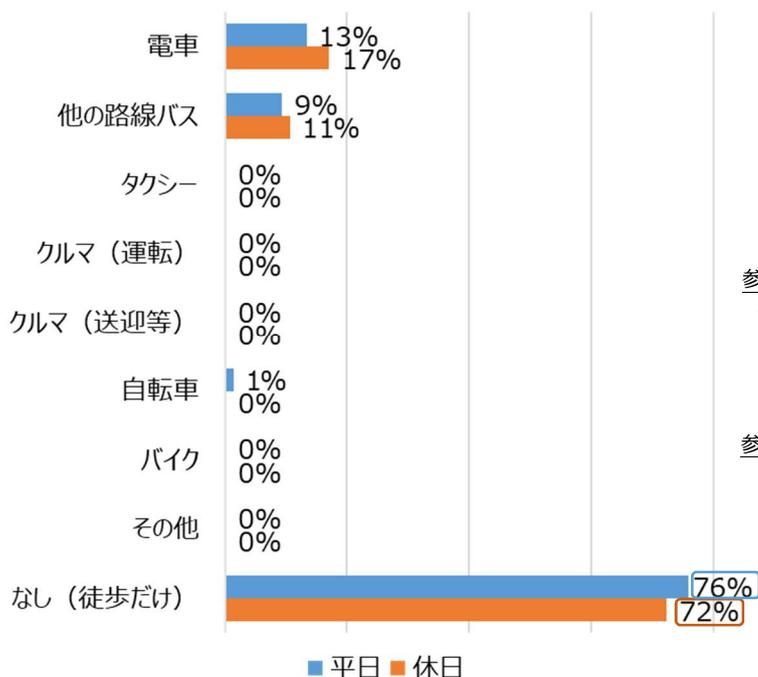
(4) 乗車前・降車後の交通手段

- 市内循環バスに乗る前、降りた後の交通手段は、「なし（徒歩だけ）」との回答が約7割と多くなっており、利用客の多くはバス停から徒歩圏の利用であることがうかがえます。
- 幸手駅東口・西口の乗降客の電車との乗り継ぎ、市役所・ウェルス幸手の乗降客の市内循環バスの他のコースとの乗り継ぎも比較的多くみられます。

バスに乗る前の交通手段



バスを降りた後の交通手段



参考：電車と乗り継ぐ利用客

・ほぼ全員、幸手駅東口または幸手駅西口での乗降客（幸手駅東口が多数）

参考：他のバスと乗り継ぐ利用客

・ほぼ全員、幸手市役所またはウェルス幸手での乗降客（幸手市役所が多数）

3. 鉄道利用客へのアンケート

3-1 調査の実施概要

【対象】 東武日光線 幸手駅の利用客

【調査期間】 令和5年（2023年）7月19日（水）および22日（土）

【調査方法】 幸手駅の改札前および駅前において、調査員が直接配布・回収または聞き取り

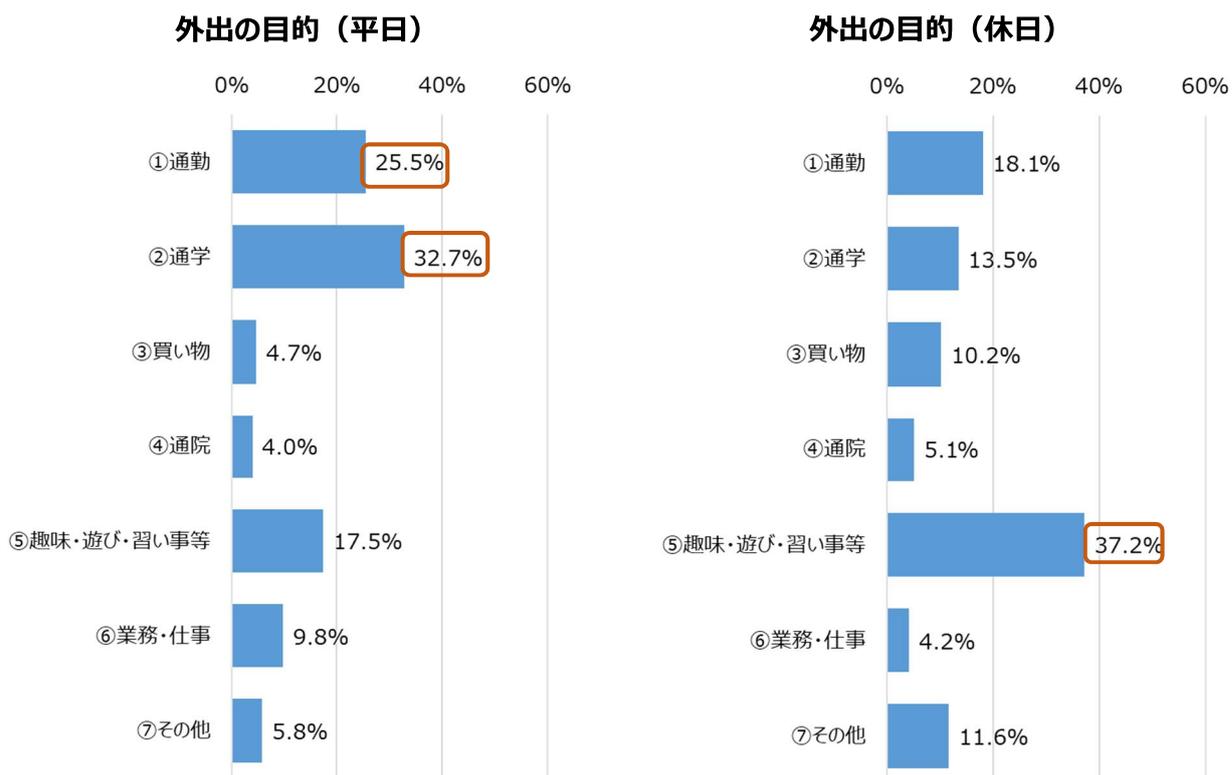
【回答数】 491人（平日275、休日216人）



3-2 主な調査結果

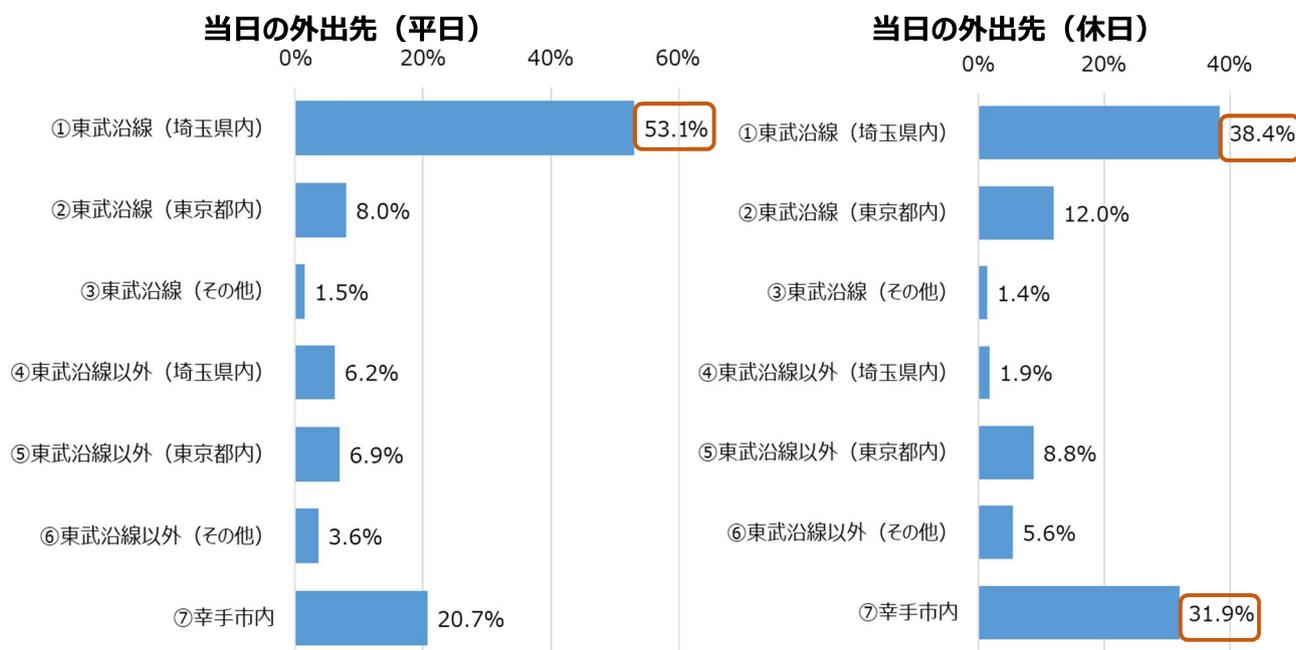
(1) 当日の外出（鉄道の利用）の目的

● 調査当日の外出（鉄道の利用）の目的について、平日は「通勤」、「通学」が多く、休日は「趣味・遊び・習い事等」が多い傾向にあります。一方で、平日でも「趣味・遊び・習い事等」が、休日でも「通勤」、「通学」が、それぞれ1割以上あります。



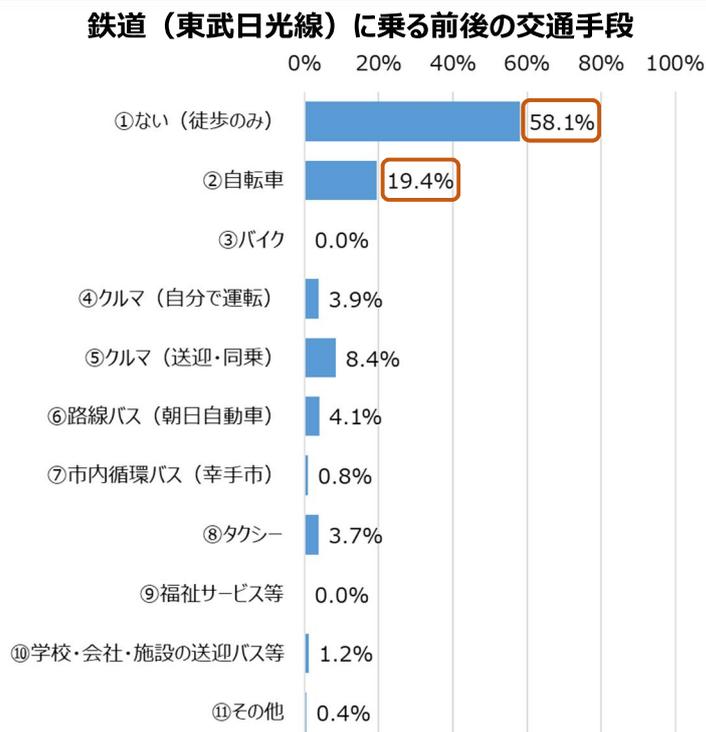
(2) 当日の外出先（目的地）

- 当日の外出先は、平日は「東武沿線（埼玉県内）」が突出して多く、休日は「東武沿線（埼玉県内）」が最も多いものの、平日と比べて「幸手市内」（来訪）が多くなる傾向にあります。
- 休日には、東京都内へ出かける人が若干増加しています。



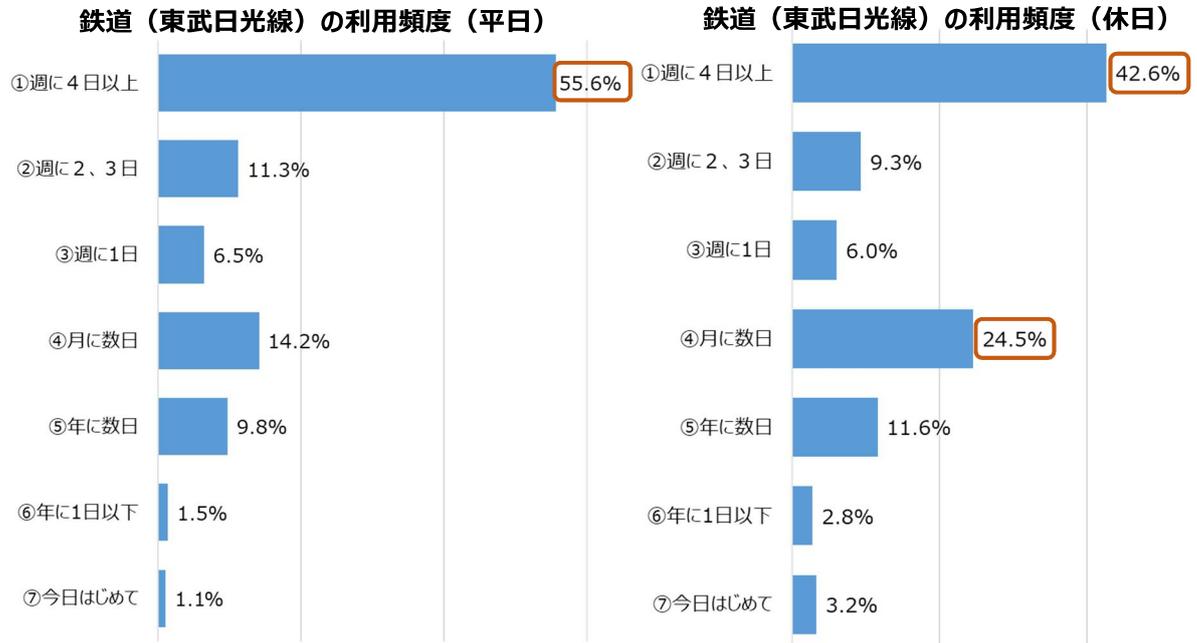
(3) 鉄道に乗る前または鉄道を降りた後の交通手段

- 鉄道に乗る前または降りた後の交通手段は、「ない（徒歩のみ）」が突出して多く、次いで「自転車」が多く、これらの合計が8割近くを占めています。
- 路線バス、市内循環バスでのアクセスは少なくなっています。



(4) ふだんの鉄道（東武日光線）の利用頻度

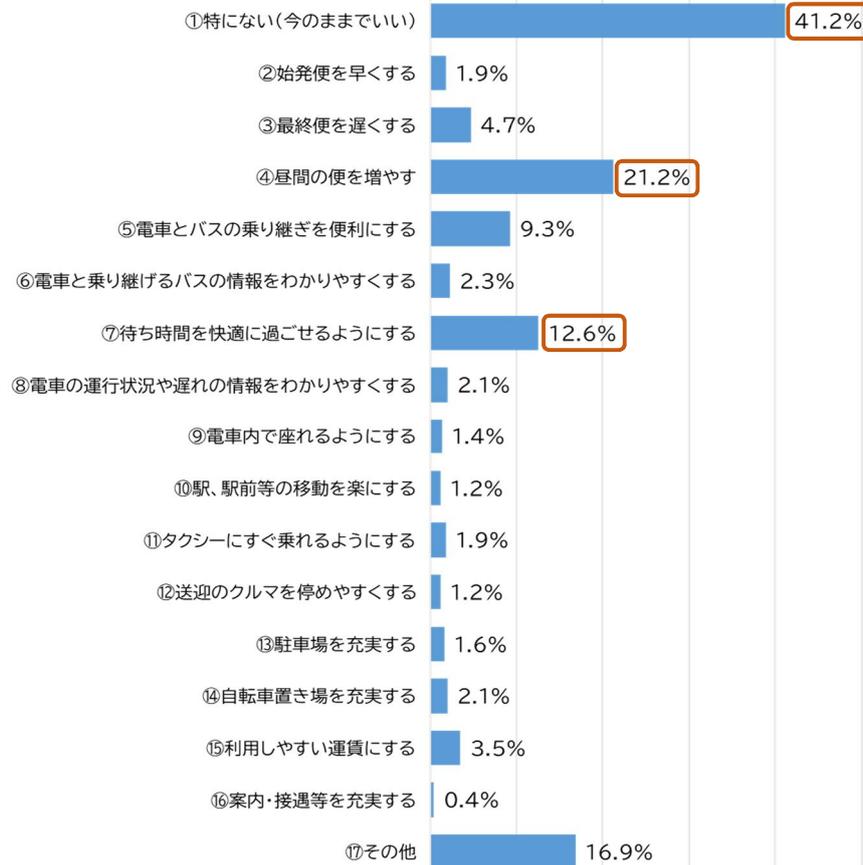
- 特に平日は利用頻度が高い人が多く、週4日以上が過半数を占めています。
- 休日は利用頻度の比較的低い人が若干増加しています。



(5) もっと鉄道（東武日光線）を使うために望まれること

- 「改善の希望は特にない」との回答が最も多く、次いで「昼間の便を増やす」、「待ち時間を快適に過ごせるようにする」が多くなっています。

もっと鉄道（東武日光線）を使うために望まれること



4. 公共交通に関するその他のアンケート

4-1 民生委員・児童委員へのアンケート

【アンケート票配布・回収方法】直接配布・回収（令和5年（2023年）4～5月）

【回答数】47人

【調査結果の概要】

- 民生委員・児童委員が外出に関し相談を受けることが多いと感じるのは、買い物、通院が大半です。
- 相談者がよく利用する交通手段は、「自動車（自分で運転、家族等の送迎）」、「徒歩」、「自転車」が多く、公共交通を利用する人は少ない状況です。
- 外出について、いつも困っている人は少なく、ときどき困っている人が多くなっています。
- 外出時の移動に困った場合の交通手段については、タクシー、家族・友人・知人の送迎、徒歩・自転車で代替している人が多くなっています。
- 外出時の移動に困っている相談者のために充実したほうがよいと思われる交通手段は、個別の送迎である「福祉タクシー」と、公共交通である「市内循環バス」が同程度で多くなっています。

4-2 市内循環バス利用客へのアンケート

【アンケート票配布・回収方法】車内据え置き・車内投函で回収（随時）

【回答数】90人

【調査結果の概要】

- 市内循環バスを利用した際の外出の目的は、買い物、通院が多数を占めます。
- 利用頻度は、週に1～2日が最も多く、次いで月に2～3日が多くなっています。週に1日以上利用する人が計4割程度を占めており、利用者に関しては、日常的に利用する人が多いことがうかがえます。
- 市内循環バスについて、満足・やや満足という回答が、不満足・やや不満足という回答と同程度となっています。
- 市内循環バスの困り事について、「停留所が遠い」、「乗り換え方法がわかりにくい」、「時刻表（リーフレット）がわかりにくい」の順で多くなっています。
- 市内循環バスについて望まれる事項は、「運行本数を増やす」、「反対周りの便の設定」が特に多くなっています。次いで「日曜・祝日の運行」、「停留所の場所の変更」が多くなっています。

4-3 運転免許証返納者へのアンケート

【アンケート票配布・回収方法】運転免許証返納時に直接配布・郵送回収（随時）

【回答数】30人

【調査結果の概要】

- 「自動車がないことに不安を感じるが、運転の不安や家族の勧めで免許を返納した」という人が大半を占めています。
- 免許証返納者の外出で最も多いのは「買い物」、次いで「通院」が多くなっています。外出頻度は、週2、3日と週4日以上が計7割程度を占めています。
- 免許証返納後の移動手段は、「徒歩」、「自転車」が特に多く、次いで、「自動車（家族などの送迎）」、「タクシー」、「市内循環バス」が多くなっています。
- 充実が望まれる公共交通については、「市内循環バス」が最も多く、半数程度を占めています。